

令和6年度

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

事業計画及び収支予算

公益財団法人 高知市文化振興事業団

目 次

■事業計画

はじめに	1
I 基本方針	1
II 事業計画	
1 自主文化事業計画	3
(1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」	
(2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」	
(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」	
(4) 目標4 すそ野を広げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」	
(5) 情報発信等	
2 第76回高知市文化祭事業計画	5
(1) 活動支援事業	
(2) 文化祭開幕行事	
(3) 高知市展	
3 中央公民館事業計画	5
(1) 生涯学習講座事業	
(2) 第73回高知市夏季大学	
(3) 貸室事業	
4 横山隆一記念まんが館事業計画	7
(1) 資料の収集・保管及び展示	
(2) 収蔵資料のデジタルアーカイブ化及び公開	
(3) 博物館資料に関する調査・研究	
(4) 博物館資料を用いた学習機会の提供及びその他の教育活動	
(5) 職員研修の実施及び人材育成	
(6) 共同・連携事業	
(7) 地域の活力向上事業	
(8) その他	

■収支予算書

●収支予算書	10
(1) 収支予算書	
(2) 収支予算内訳表	
(3) 資金調達及び設備投資の見込み	
(4) 資金収支予算書	

令和6年度事業計画

はじめに

高知市文化振興事業団は、昭和59年の設立以来、市民による芸術・文化の創造活動の日常化や文化の時代にふさわしい高知の文化活動の活性化を目指し、高知市における文化振興の実質的な推進母体としての役割を果たしてきた。

高知市文化プラザかるぼーと開館以降は、高知市から中央公民館事業や横山隆一記念まんが館事業等を委託されたことにより、市民の多様な生涯学習活動を支えるとともに、高知のまんが文化振興の推進役として重要な役割も担っている。

この間、芸術・文化を取り巻く状況が大きく変化したことから、平成26年に事業団設立30周年を迎えたことを契機として、新たに今後10か年（平成27年度～令和6年度）の事業推進指針を定め、「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を基本理念と定めた。

令和6年度は、この基本理念を踏まえ、高知市文化振興ビジョンとの整合性を図りつつ、次の基本方針に基づいて自主文化事業、文化祭事業、中央公民館事業及びまんが館事業を効果的に展開していく。また、事業団は、令和6年度に設立40周年を迎えることから、次の10年間（令和7年度～令和16年度）の事業団が目指すべき事業推進指針を定めることとする。

I 基本方針

1 自主文化事業

事業推進指針に定めた基本理念である「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を実現するため、4つの目標（3～4P参照）に沿った事業を実施する。

各事業の実施にあたっては、高知市文化振興ビジョンとの整合を取りながら、文化による共生社会の実現のための取組を推進する創造事業の実施や、これまで事業団が培ってきたネットワークを活かし、市民・行政・民間団体、そして教育や福祉との協働、県内外の文化施設との連携を積極的に進めていく。

2 文化祭事業

各種文化団体や市民による文化活動を支援することで、幅広い世代の市民に向けた作品発表や公演機会を提供する。日常的な芸術文化の創造・鑑賞の機会を構築し、高知市民の文化祭の一層の充実と振興を図る。

3 中央公民館事業

超高齢社会においても持続可能な事業運営を目指して、多様なニーズに対応した生涯学習活動の場を提供する。魅力ある講座や科目を企画、実施するとともに、市民による自発的な公民館活動に繋げるための働きかけに取り組み、地域の活性化に結び付けていく。

各種学習室の貸出については、WEB予約申込受付を周知するとともに、引き続き稼働率の向上に取り組む。

4 まんが館事業

博物館法に明記されている事業に準じて、一般利用者から研究者の利用まで幅広いニーズに応える資料・情報提供をするための収蔵資料整理と、より多くの人にまんが文化に親しみを感じてもらうための事業を、様々な外部団体と連携して行っていく。

II 事業計画

1 自主文化事業計画

事業推進指針に掲げた基本理念を実現するための事業を実施する。市民参加の創造事業を継続して推進していくとともに、各団体との協働事業、鑑賞事業、アウトリーチ事業など、多様なプログラムで構成する。

(1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」

市民や関係団体などの協働と連携によって、互いの利点を活かした「文化の協働と連携」を推進するとともに、幅広い世代の芸術・文化活動を通じて地域の活性化を促す事業を実施する。

とさっ子タウン2024	R6年 8月17日(土)・18日(日)
とさっ子タウン実行委員会との協働で継続してきた事業。小学4年生から中学3年生を対象に仮想のまちで仕事を覚え、働き、学び、楽しみながら政治参加や納税などの社会の仕組みを学ぶプログラム。実行委員会に参画し事業協力を行う。 共催：とさっ子タウン実行委員会・NPO高知市民会議・高知市市民活動サポートセンター	
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭	R6年 9月15日(日)
市民音楽の活性化と中心市街地活性化等を目的に開催する県下最大規模の音楽イベント。県内外から約130組が参加、市内約10か所で演奏する手作り音楽祭。 主催：高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会	
高知地域連携インクルーシブアートプロジェクト	通年
障害者等の文化芸術活動への参加を促進し、文化による共生社会の実現のための取組を推進することを目的に、事業団も一員となり県下の文化施設を横断した実行委員会を組織。年間を通じて、連携した文化施設が実施する事業や研修などの取組に参加する。事業団の個別の事業にも適用し、実行委員会と連携した取組を進めていく。 助成：文化庁 障害者等による文化芸術活動推進事業（申請中） 実行委員会：高知市文化振興事業団・高知県立県民文化ホール・土佐清水市立市民文化会館・特定非営利活動法人蝸蔵・香南市夜須公民館・すさきまちかどギャラリー	

(2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」

高知に紡がれてきた有形、無形の文化資産を継承するとともに、高知ならではの文化を創造し発信するため、地域や中央で活躍するアーティストとともに、作品を創り上げる事業等を実施する。

市民参加演劇公演「12人の怒れる土佐人」	R6年 8月24日(土)・25日(日)
高知市出身の演出家・俳優、細川貴司とオーディションワークショップで選ばれた高知の俳優による演劇作品を制作する。かるぼーとでの初演後、高知県下の文化施設（香南市夜須公民館、土佐清水市立市民文化会館、窪川四万十会館）で巡演する。 助成：(公財)三菱UFJ信託地域文化財団（申請中）	
「合唱組曲 四万十川」コンサート	R6年10月 6日(日)
前年度から準備事業として、公募による市民参加の合唱団を結成し練習を行っている。令和6年度は本山秀毅氏の指揮で四国フィルハーモニー管弦楽団を中心とした二管編成のオーケストラとの演奏会を開催する。学生向けのワークショップも予定。 助成：(一財)自治総合センター コミュニティ助成事業(地域の芸術環境づくり)（申請中） 協力：高知県合唱連盟	
「新・祝祭 音楽劇 小さな星の王子さま」	R7年 3月 9日(日)
障害のある方を含む様々な個性を持つ方や多様な立場の人々が、協働して演劇作品をつくる藁工ミュージアムとシアターTACOGURA主催のプロジェクトとして令和3年に高知県立美術館ホールで上演された祝祭音楽劇「小さな星の王子さま」の再演。新たに募る出演者に合わせて上演脚本を書き直し、今の高知でしか生み出せないオリジナルの「星の王子さま」を大ホールで上演する。障害者のための鑑賞サポートも手厚いものにする。 助成：(一財)地域創造 地域の文化・芸術活動助成事業(創造プログラム)	

第34回高知出版学術賞	募集開始 R6年12月
当該年における高知県関係の最も優れた学術出版を顕彰することによって、学術研究の振興を図り、県勢の進展に資することを目的とする。	
アーティストバンク	通年
地域で活動するアーティストのプロフィールや公演情報などを広く発信することで、市民とアーティストをつなぐとともに、アーティストの活動を支援する役割も果たす。	

(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」

文化に親しむきっかけづくりとしての事業や、新たな鑑賞者の育成、芸術文化活動の担い手を育てるための人材育成事業を実施する。

柴田恵子基金高知若手作家育成事業	(2か年事業)
高知市が受けた民間からの寄附を基金とした文化・芸術分野での若者を育成する企画について、事業団が高知市に提案した美術ジャンルでの新事業。2か年の事業期間のなかで、個人またはグループから展示企画案を公募し審査を経て選出された数名の作家に作品制作の補助金を支給する。制作期間ののち選出者作品展で最終審査を行い、大賞1点を選出する。全5回、10年間を前提とした計画で地元の作家の育成に取り組む。	
第13回高知の音楽活性化事業 「松本 蘭バイオリンリサイタル」	R7年 2月 1日(土)
「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」のメンバーとしての活動を経たのち、2009年にソロデビューした松本蘭による4回のアウトリーチと1回のホール公演。 助成：(一財)地域創造 公共ホール音楽活性化支援事業	

(4) 目標4 すそ野を拓げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」

市民誰にも優れた芸術・文化の鑑賞機会を幅広く提供し、鑑賞者を育成するとともに、芸術・文化を理解する市民のすそ野を拓げる事業を実施する。

「Le Fils 息子」＋「La Mère 母」同時上演	R6年 5月31日(金)・ 6月 1日(土)
フランスの劇作家、フロリアン・ゼレールの家族三部作の集大成として、舞台「Le Père 父」「Le Fils 息子」に続き、日本初演の「La Mère 母」を上演する。合わせて、令和3年度に上演し好評を博した「Le Fils 息子」の再演も実施。	
仕立て屋のサーカス 高知公演	R6年 6月22日(土)・23日(日)
音楽家・曾我大穂と服飾家・スズキタカユキらが音と布と光を使い即興でつくりあげる独特の舞台。世界で活躍を続ける、日本発の音と布と光のサーカスの高知公演。	
大阪交響楽団 「JOHN WILLIAMS FULL ORCHESTRA CONCERT」	R6年 9月 7日(土)
「ジョーズ」「スター・ウォーズ」などで知られる映画音楽の巨匠、ジョン・ウィリアムズの楽曲のみで構成したプログラムをフルオーケストラが演奏する。 助成：文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業(申請中) 協賛：大和ハウス工業	
劇団四季 こころの劇場「ガンバの大冒険」	R7年 2月19日(水)
高知市の小学校6年生を学校単位で無料招待するミュージカル公演。子どもたちに「命の尊さ」「信じあう喜び」「人を思いやる心」など、生きていく上で大切なことを舞台芸術を通して語りかける。高知市教育委員会との連携事業。 共催：劇団四季・(一財)舞台芸術センター	

(5) 情報発信等

機関誌「文化高知」の発行、高知市広報「あかるいまち」や地元情報誌の告知枠、マスコミへの取材依頼による告知記事などを通して、事業団の情報提供や文化事業の周知活動に努める。また、事業団公式ホームページや、フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラムといったインターネット上での発信を強化していき、フォロワー拡大に努める。「文化高知」は、本年度は235号から238号までを3か月毎に発行する。

「Culちャーず」(かるちャーず・事業団サポーターズクラブ)は、「かるちャーず」に改称し、旧制度を抜本的に見直した年会費無料の情報発信サービスとして運用する。

2 第76回高知市文化祭事業計画（受託事業）

市民文化の継続的な発展のために、市民文化団体の自発的な活動がより活性化することを目的とし、各分野の市民文化団体との協働・連携を深めながら、以下の3事業に取り組む。

(1) 活動支援事業

高知市文化祭に参加するコンサートや舞踊、演劇、展示会等の様々なジャンルの市民自らの手で作る文化行事に助成金を交付するほか、広報などの支援を行う。

(2) 文化祭開幕行事

開幕行事としての舞台公演の開催が5年振りとなる本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度、3年度と2回続けて中止となった企画「筆山のゆかいな仲間たち」を実現させる。4月14日(日)に大ホールで行う公演は、筆山文化会館を中心に活動を行う文化団体の合同ステージと、ホールロビーを利用した作品展示で構成する。

(3) 高知市展

市民ボランティアである100人を超える高知市展専門委員とともに、5月25日(土)から6月9日(日)の会期でアンデパンダン(公募・無審査)方式によって10部門の総合美術展を開催する。

6月2日(日)には小学生を主な対象とした体験型の美術イベントを関連行事として実施する。展覧会に先がけて行う講習会は6部門を予定。また、会期中には出品者や鑑賞者の研鑽を目的とする研究会も行う。姉妹都市である北海道北見市との美術交流も引き続き予定している。

3 中央公民館事業計画（受託事業）

企画の工夫や内容を充実させることで学習機会を確保し、市民の生涯学習活動の推進に努める。

(1) 生涯学習講座事業

実施回数や内容を随時見直し、市民のニーズに応える講座を実施する。また、市民学校の継続受講生が自主的なサークル活動を行えるようなサポート体制を試行中。引き続き高知市民の大学運営委員会との共催や、市民映画会運営委員会との連携を通じて、市民とともに育んできた中央公民館事業の発展に努める。

講 座 名
市民学校（前後期）
市民講座
いきいきセカンド☆ライフ講座（前後期各2コース）
高知市民の大学（95期・96期、各2コース）
市民映画会（3回）

(2) 第73回高知市夏季大学

7月16日(火)から7月27日(土)までの日曜日・月曜日を除く10日間、かるぼーと大ホールで開催。さまざまな分野の講師を招き、市民の関心や話題性が高いテーマから社会的課題まで、市民に学び考える機会を提供する。

(3) 貸室事業

中央公民館の貸室運営については、利用者の多様なニーズに合わせた見直しを継続。WEB予約申込受付の周知を図るため、SNS等を活用し利用者の利便性の向上をより広くアピールし稼働率上昇に繋げる。

複合施設としての特徴を活かし、大小ホール・ギャラリー等との併用がある場合は、指定管理者と連携し柔軟な対応をすることにより利用率の増加に努める。

4 横山隆一記念まんが館事業計画（受託事業）

令和5年4月に一部改正された新たな博物館法に従い、令和7年度に博物館登録ができるよう、横山隆一記念まんが館の事業構成を見直し、法律に列記されている事業についてはできるだけ取り組んでいく。また、高知市と協議し、館の目的の修正や運営に必要とされる手続きの定め等も設定していく。

(1) 資料の収集・保管及び展示

① 収集

横山隆一の資料他、貴重な過去のまんが資料を中心に、古書の購入や寄贈を受け入れることで資料収集を行っていく。また、ライブラリーで読書に供するコミックやまんが関連書籍は、高知関係作家のものや各種まんが賞を受賞したもの、利用者からのリクエスト、学習まんがとして利用できるもの等を中心に購入する。

② 保管

収蔵庫の環境を良好に保つため、日々の管理や定期検査を行い、必要が生じた場合は燻蒸を行う。また虫菌害に関する職員の知識を深めるため講習の受講等も行う。破損資料等については、外注により順次保存修復を行っていく。

③ 展示

常設展示の造作物については、年2回制作業者による保守点検を行う。常設展示コーナーの中にテーマ展示コーナーを設け、年3回程度、多種多様な収蔵資料を公開する。また、年1回程度収蔵資料を基にした企画展を行うほか、国内外の様々なまんがの情報を提供する場として企画展を実施する。

作品・資料借用による企画展	期日未定
交渉中	
「フクチャンとフクちゃん ハザマの時代」(仮)	期日未定
朝日新聞の「フクチャン」が連載終了してから、毎日新聞の「フクちゃん」が連載開始するまでの10年間について、横山隆一の仕事を調査し紹介する。	
「まんが・漫画・マンガ展! 2025」(仮)	期日未定
高知漫画集団、高知漫画グループくじらの会など高知在住セミプロのまんが家グループを中心に、県内の学生など、地元でまんがを描いている人たちへの発表の機会を提供し、まんがの裾野を広げ、各作家の地力向上を支援する。	

(2) 収蔵資料のデジタルアーカイブ化及び公開

まんが館の収蔵品は、早稲田システム開発株式会社のデジタルデータベース（クラウド方式）を用いて資料登録から外部公開まで一括して行っている。現在約7万点の登録が終わっているが、未だ開館当初からの収蔵品で資料登録できていないものもあるため、引き続き整理、登録、調査を進め、随時デジタルアーカイブ公開していく。公開は、まんが館ホームページ及び全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」で行われ、データベース検索が可能。

(3) 博物館資料に関する調査・研究

研究者などからの問い合わせに対するレファレンスに対応していく。

収蔵する横山隆一の資料はまんがのみならず多様な分野に及び、その活躍の分野も多岐にわたる。他の組織、外部の研究者等の協力を得ながら、日本のまんが史、文化史に関わる研究を進め、館報や年報において調査結果を発表していく。

① 公立美術館共同巡回展

準備年度及び開催年度に係る2か年の助成プログラムにより、日本の近現代漫画の基礎を築いた漫画家を顕彰している、熊本県・湯前まんが美術館、さいたま市立漫画会館、横山隆一記念まんが館の3館で実行委員会を組織し、合同企画展を組み、巡回させる事業を行う。令和7年度の企画展巡回に向け、本年度は各館の出品作品の選定、使用資料の修復、展示構成案の策定、作品・資料に関する研究を行い、図録を発行するための執筆までを行う。

助成：(一財)地域創造 公立美術館共同巡回展開催助成事業

② 日本マンガ学会資料保存収集部会への参加

構成会員とともに、マンガ刊本の効率的なデータベース構築について研究していく。

(4) 博物館資料を用いた学習機会の提供及びその他の教育活動

① 第20回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の募集及び関連事業

横山隆一が4コマまんがの名手であったことから、4コマまんがに限定したまんが賞を平成17年度に創設し、本年度で20回目の開催となる。4コマまんがという手法で時事や風刺、身の回りの出来事を捉えて、自分の思いを表現するという知的・創造的活動を、子どもから大人まで誰でも参加できる形で促す取組。

作品募集	募集期間 R6年 4月～ 9月10日(火)予定
ジュニア(小学生以下)、一般(中学生以上)の2部門での募集を行う。	
表彰式	期日未定
入賞作品会期中などに行う予定。	
4コマまんが大賞作品の展示	R6年12月予定
入賞作品や1次審査通過作品を企画展「4コマまんが大賞作品展」で展示する。	

② 学校教員向けの施設利用案内事業

「教員のための博物館の日 in 横山隆一記念まんが館」

学校教員に博物館を知り授業や学習に役立ててもらおうきっかけづくりとして、平成20年に国立科学博物館が始めた「教員のための博物館の日」事業の「横山隆一記念まんが館」版。まんが館への無料招待日の設定や、解説講座を実施する。

共催：国立科学博物館・(公財)日本博物館協会

③ まんが体験イベント

市民(特に子ども)に、楽しみながら創作活動を体験する場として、絵やまんがを描く技術を学んだり、絵を用いた工作を行うまんが体験イベントを開催する。講師は地元まんが家などに依頼するほか、まんが館の職員が務める

夏休み体験イベント「めざせ!まんが職人」	R6年 7月・ 8月予定
小学生を対象にしたワークショップ。地元まんが家を講師に迎えた講座や、企画展と関連した内容の講座も計画している。	
冬の体験イベント「まんがで遊ぼう!プレクリスマス」	R6年12月21日(土)予定
4コマまんが作品展の会期中に実施。作品展観覧者を対象に、プレゼントグッズ等を手作りするワークショップ。	
まんが体験ワークショップ	期日未定
放課後児童クラブ等に出向いてのワークショップを、希望を募って実施する。	

(5) 職員研修の実施及び人材育成

① 職員研修

学芸員をはじめ職員が必要な知識を習得するため、文化庁や日本博物館協会等が

実施する、ミュージアム パブリックリレーションズ研修や文化財（美術工芸品）保存修理講習会等を例とする各種の研修に参加する。そのほか、こうちミュージアムネットワークや高知県文化財団で行われる講座等にも積極的に参加する。

② 博物館実習の受入れ

学芸員資格取得のための大学生の実習を受け入れる。

(6) 共同・連携事業

① こうちミュージアムネットワークへの参加

県内の博物館施設などと連携し、各種事業を行うこうちミュージアムネットワークに参加し、情報交換を行い、高知県内の文化振興や観光振興イベント等へ協力するため、幹事館としての割り当て業務を担う。

② 高知お城下文化施設の会への参加

高知市中心部の博物館・図書館等の文化施設が連携し、様々な事業を通じて、高知県・高知市の文化振興や観光振興に資する活動を行うお城下文化施設の会に参加する。

(7) 地域の活力向上事業「こうちまんがフェスティバル」

子どもから大人までが参加できる、「みる・かく・あそぶ」をテーマとした、まんが・アニメのイベント「まんさいーこうちまんがフェスティバル2024」を11月2日(土)・3日(日・祝)に高知市主催で開催。市民参加型の実行委員会が中心となり企画・運営を行うため、事務局としてバックアップしていく。

(8) その他

① 館報「FUKU－FUKU」（年4回）と、令和5年度年報の発行。

② 公式ホームページ、SNS等を通じた広報活動を行う。

収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)
		当初(B)	補正後(C)	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,000	1,000	1,000	0
基本財産運用利息	1,000	1,000	1,000	0
事業収益	183,939,000	175,720,000	175,720,000	8,219,000
文化事業収益	17,657,000	17,939,000	17,939,000	-282,000
文化事業収益	17,067,000	17,053,000	17,053,000	14,000
まんが館事業収益	575,000	755,000	755,000	-180,000
会費収益	0	120,000	120,000	-120,000
出版物売払収益	15,000	11,000	11,000	4,000
文化事業受託収益	166,282,000	157,781,000	157,781,000	8,501,000
高知市文化祭事業受託収益	7,098,000	7,098,000	7,098,000	0
中央公民館事業受託収益	58,724,000	56,713,000	56,713,000	2,011,000
まんが館事業受託収益	52,642,000	48,496,000	48,496,000	4,146,000
運営管理受託収益	47,155,000	45,474,000	45,474,000	1,681,000
高知若手作家育成事業受託収益	663,000	0	0	663,000
受取補助金等	73,739,000	82,928,000	87,673,000	-13,934,000
受取地方公共団体補助金	63,475,000	73,062,000	73,062,000	-9,587,000
財団管理運営補助金	6,639,000	6,441,000	6,441,000	198,000
文化事業補助金	46,103,000	56,096,000	56,096,000	-9,993,000
文化活動等助成事業補助金	10,733,000	10,525,000	10,525,000	208,000
受取民間助成金	5,260,000	7,736,000	13,481,000	-8,221,000
事業助成金	5,260,000	7,736,000	13,481,000	-8,221,000
受取国庫助成金	5,004,000	2,130,000	1,130,000	3,874,000
国庫助成金	5,004,000	2,130,000	1,130,000	3,874,000
受取地方助成金	0	0	0	0
地方助成金	0	0	0	0
受取寄付金	10,000	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0
雑収益	689,000	2,015,000	2,015,000	-1,326,000
雑収益	689,000	2,015,000	2,015,000	-1,326,000
運営管理事業雑収益	215,000	215,000	215,000	0
中央公民館実習材料販売等雑収益	455,000	416,000	416,000	39,000
まんが館事業雑収益	19,000	19,000	19,000	0
リニューアル事業雑収益	0	1,365,000	1,365,000	-1,365,000
経常収益計	258,378,000	260,674,000	265,419,000	-7,041,000

収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)
		当初(B)	補正後(C)	
(2) 経常費用				
事業費	250,927,000	253,546,000	258,291,000	-7,364,000
役員報酬	2,427,000	2,393,000	2,393,000	34,000
給料	72,720,000	69,925,000	69,925,000	2,795,000
手当	41,834,000	40,014,000	40,014,000	1,820,000
福利厚生費	25,154,000	24,337,000	24,337,000	817,000
食糧費	555,000	809,000	809,000	-254,000
旅費交通費	7,539,000	8,678,000	8,678,000	-1,139,000
通信運搬費	1,893,000	2,730,000	2,730,000	-837,000
減価償却費	34,000	312,000	312,000	-278,000
消耗品費	4,128,000	4,266,000	4,266,000	-138,000
修繕費	251,000	251,000	251,000	0
印刷製本費	4,275,000	4,065,000	4,065,000	210,000
燃料費	204,000	203,000	203,000	1,000
賃借料	8,121,000	14,447,000	14,447,000	-6,326,000
広告宣伝費	987,000	1,299,000	1,299,000	-312,000
保険料	554,000	624,000	624,000	-70,000
委託費	51,913,000	52,024,000	56,769,000	-4,856,000
諸謝金	17,731,000	17,359,000	17,359,000	372,000
租税公課	8,919,000	8,879,000	8,879,000	40,000
負担金	924,000	163,000	163,000	761,000
雑費	764,000	768,000	768,000	-4,000
管理費	7,536,000	7,324,000	7,324,000	212,000
役員報酬	3,072,000	3,021,000	3,021,000	51,000
給料	693,000	668,000	668,000	25,000
手当	719,000	692,000	692,000	27,000
福利厚生費	1,162,000	1,126,000	1,126,000	36,000
交際費	10,000	10,000	10,000	0
旅費交通費	177,000	140,000	140,000	37,000
通信運搬費	76,000	76,000	76,000	0
減価償却費	0	3,000	3,000	-3,000
消耗品費	74,000	72,000	72,000	2,000
修繕費	8,000	8,000	8,000	0
印刷製本費	6,000	7,000	7,000	-1,000
燃料費	8,000	8,000	8,000	0
賃借料	1,111,000	1,249,000	1,249,000	-138,000
保険料	82,000	101,000	101,000	-19,000
委託費	45,000	47,000	47,000	-2,000
諸謝金	9,000	9,000	9,000	0
租税公課	5,000	5,000	5,000	0
負担金	73,000	74,000	74,000	-1,000
雑費	206,000	8,000	8,000	198,000
経常費用計	258,463,000	260,870,000	265,615,000	-7,152,000
当期経常増減額	-85,000	-196,000	-196,000	111,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-85,000	-196,000	-196,000	111,000
一般正味財産期首残高	48,085,007	46,783,947	46,783,947	1,301,060
一般正味財産期末残高	48,000,007	46,587,947	46,587,947	1,412,060
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	11,832,145	14,832,143	14,832,143	-2,999,998
指定正味財産期末残高	11,832,145	14,832,143	14,832,143	-2,999,998
III 正味財産期末残高	59,832,152	61,420,090	61,420,090	-1,587,938

収支予算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,000	1,000
基本財産受取利息	0	1,000	1,000
基本財産受取利息	0	1,000	1,000
事業収益	183,234,000	705,000	183,939,000
文化事業収益	17,159,000	498,000	17,657,000
文化事業収益	16,569,000	498,000	17,067,000
まんが館事業収益	575,000	0	575,000
会費収益	0	0	0
出版物売払収益	15,000	0	15,000
文化事業受託収益	166,075,000	207,000	166,282,000
高知市文化祭事業受託収益	7,098,000	0	7,098,000
中央公民館事業受託収益	58,724,000	0	58,724,000
まんが館事業受託収益	52,642,000	0	52,642,000
運営受託収益	46,948,000	207,000	47,155,000
高知若手作家育成事業受託収益	663,000	0	663,000
受取補助金等	67,100,000	6,639,000	73,739,000
受取地方公共団体補助金	56,836,000	6,639,000	63,475,000
財団管理運営補助金	0	6,639,000	6,639,000
文化事業補助金	46,103,000	0	46,103,000
文化活動等助成事業補助金	10,733,000	0	10,733,000
受取民間助成金	5,260,000	0	5,260,000
事業助成金	5,260,000	0	5,260,000
受取国庫助成金	5,004,000	0	5,004,000
国庫助成金	5,004,000	0	5,004,000
受取寄付金	0	10,000	10,000
文化事業寄付金	0	10,000	10,000
文化事業寄付金	0	10,000	10,000
雑収益	494,000	195,000	689,000
雑収益	494,000	195,000	689,000
運営事業雑収益	20,000	195,000	215,000
中央公民館実習材料販売等雑収益	455,000	0	455,000
まんが館事業雑収益	19,000	0	19,000
経常収益計	250,828,000	7,550,000	258,378,000

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
(2) 経常費用			
事業費	250,927,000	0	250,927,000
役員報酬	2,427,000	0	2,427,000
給料	72,720,000	0	72,720,000
手当	41,834,000	0	41,834,000
福利厚生費	25,154,000	0	25,154,000
食糧費	555,000	0	555,000
旅費交通費	7,539,000	0	7,539,000
通信運搬費	1,893,000	0	1,893,000
減価償却費	34,000	0	34,000
消耗品費	4,128,000	0	4,128,000
修繕費	251,000	0	251,000
印刷製本費	4,275,000	0	4,275,000
燃料費	204,000	0	204,000
賃借料	8,121,000	0	8,121,000
広告宣伝費	987,000	0	987,000
保険料	554,000	0	554,000
委託費	51,913,000	0	51,913,000
諸謝金	17,731,000	0	17,731,000
租税公課	8,919,000	0	8,919,000
負担金	924,000	0	924,000
雑費	764,000	0	764,000
管理費	0	7,536,000	7,536,000
役員報酬	0	3,072,000	3,072,000
給料	0	693,000	693,000
手当	0	719,000	719,000
福利厚生費	0	1,162,000	1,162,000
交際費	0	10,000	10,000
旅費交通費	0	177,000	177,000
通信運搬費	0	76,000	76,000
消耗品費	0	74,000	74,000
修繕費	0	8,000	8,000
印刷製本費	0	6,000	6,000
燃料費	0	8,000	8,000
賃借料	0	1,111,000	1,111,000
保険料	0	82,000	82,000
委託費	0	45,000	45,000
諸謝金	0	9,000	9,000
租税公課	0	5,000	5,000
負担金	0	73,000	73,000
雑費	0	206,000	206,000
経常費用計	250,927,000	7,536,000	258,463,000
当期経常増減額	-99,000	14,000	-85,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			-85,000
一般正味財産期首残高			48,085,007
一般正味財産期末残高			48,000,007
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	11,832,145
指定正味財産期末残高	0	0	11,832,145
III 正味財産期末残高			59,832,152

資金調達及び設備投資の見込みについて
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

1 資金調達の見込みについて

期中に借り入れの予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

期中に重要な設備投資(除却または売却を含む)の予定はありません。

以上

資金収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

1 収入の部

(単位:円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)	備 考
		当初(B)	補正後(C)		
1 基本財産運用収入	1,000	1,000	1,000	0	
1 基本財産運用収入	1,000	1,000	1,000	0	
1 基本財産利息	1,000	1,000	1,000	0	
2 事業収入	184,039,000	175,820,000	175,820,000	8,219,000	
1 文化事業収入	17,657,000	17,939,000	17,939,000	-282,000	
1 文化事業収入	17,067,000	17,053,000	17,053,000	14,000	
2 まんが館事業収入	575,000	755,000	755,000	-180,000	
3 会費収入	0	120,000	120,000	-120,000	
4 出版物売払収入	15,000	11,000	11,000	4,000	
2 文化事業受託収入	166,382,000	157,881,000	157,881,000	8,501,000	
1 高知市文化祭事業受託収入	7,098,000	7,098,000	7,098,000	0	
2 中央公民館事業受託収入	58,724,000	56,713,000	56,713,000	2,011,000	財団職員人件費含む
3 まんが館事業受託収入	52,642,000	48,496,000	48,496,000	4,146,000	"
4 運営受託収入	47,255,000	45,574,000	45,574,000	1,681,000	"
5 高知若手作家育成事業受託収入	663,000	0	0	663,000	"
3 補助金収入	73,739,000	82,928,000	87,673,000	-13,934,000	
1 地方公共団体補助金収入	63,475,000	73,062,000	73,062,000	-9,587,000	
1 財団管理運営補助金収入	6,639,000	6,441,000	6,441,000	198,000	"
2 文化事業補助金収入	46,103,000	56,096,000	56,096,000	-9,993,000	"
3 文化活動等助成事業補助金収入	10,733,000	10,525,000	10,525,000	208,000	"
2 民間助成金収入	5,260,000	7,736,000	13,481,000	-8,221,000	
1 事業助成金	5,260,000	7,736,000	13,481,000	-8,221,000	
3 国庫助成金収入	5,004,000	2,130,000	1,130,000	3,874,000	
1 国庫助成金	5,004,000	2,130,000	1,130,000	3,874,000	
4 寄付金収入	10,000	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0	
5 雑収入	689,000	2,015,000	2,015,000	-1,326,000	
1 雑収入	689,000	2,015,000	2,015,000	-1,326,000	
1 運営管理事業雑収入	215,000	215,000	215,000	0	
2 中央公民館実習材料販売等雑収入	455,000	416,000	416,000	39,000	
3 まんが館事業雑収入	19,000	19,000	19,000	0	
4 リニューアル事業雑収入	0	1,365,000	1,365,000	-1,365,000	
当期収入合計 (A)	258,478,000	260,774,000	265,519,000	-7,041,000	
前期繰越収支差額	29,669,598	27,687,165	27,687,165	1,982,433	
合 計 (B)	288,147,598	288,461,165	293,206,165	-5,058,567	

資金収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

2 支出の部

(単位:円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)	備 考
		当初(B)	補正後(C)		
1 事業費支出	250,878,000	253,219,000	257,964,000	-7,086,000	
役員報酬支出	2,427,000	2,393,000	2,393,000	34,000	
給料支出	72,720,000	69,925,000	69,925,000	2,795,000	
手当支出	41,834,000	40,014,000	40,014,000	1,820,000	
福利厚生費支出	25,154,000	24,337,000	24,337,000	817,000	
食糧費支出	555,000	809,000	809,000	-254,000	
旅費交通費支出	7,539,000	8,678,000	8,678,000	-1,139,000	
通信運搬費支出	1,893,000	2,730,000	2,730,000	-837,000	
消耗品費支出	4,128,000	4,266,000	4,266,000	-138,000	
修繕費支出	251,000	251,000	251,000	0	
印刷製本費支出	4,260,000	4,050,000	4,050,000	210,000	
燃料費支出	204,000	203,000	203,000	1,000	
賃借料支出	8,121,000	14,447,000	14,447,000	-6,326,000	
広告宣伝費支出	987,000	1,299,000	1,299,000	-312,000	
保険料支出	554,000	624,000	624,000	-70,000	
委託費支出	51,913,000	52,024,000	56,769,000	-4,856,000	
諸謝金支出	17,731,000	17,359,000	17,359,000	372,000	
租税公課支出	8,919,000	8,879,000	8,879,000	40,000	
負担金支出	924,000	163,000	163,000	761,000	
雑費支出	764,000	768,000	768,000	-4,000	
2 管理費支出	7,536,000	7,321,000	7,321,000	215,000	
役員報酬支出	3,072,000	3,021,000	3,021,000	51,000	
給料支出	693,000	668,000	668,000	25,000	
手当支出	719,000	692,000	692,000	27,000	
福利厚生費支出	1,162,000	1,126,000	1,126,000	36,000	
交際費支出	10,000	10,000	10,000	0	
旅費交通費支出	177,000	140,000	140,000	37,000	
通信運搬費支出	76,000	76,000	76,000	0	
消耗品費支出	74,000	72,000	72,000	2,000	
修繕費支出	8,000	8,000	8,000	0	
印刷製本費支出	6,000	7,000	7,000	-1,000	
燃料費支出	8,000	8,000	8,000	0	
賃借料支出	1,111,000	1,249,000	1,249,000	-138,000	
保険料支出	82,000	101,000	101,000	-19,000	
委託費支出	45,000	47,000	47,000	-2,000	
諸謝金支出	9,000	9,000	9,000	0	
租税公課支出	5,000	5,000	5,000	0	
負担金支出	73,000	74,000	74,000	-1,000	
雑費支出	206,000	8,000	8,000	198,000	
3 予備費支出	100,000	100,000	100,000	0	
予備費支出	100,000	100,000	100,000	0	
当期支出合計 (C)	258,514,000	260,640,000	265,385,000	-6,871,000	
当期収支差額 (A)-(C)	-36,000	134,000	134,000	-170,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	29,633,598	27,821,165	27,821,165	1,812,433	